

福岡県の肉用鶏農場から 高病原性鳥インフルエンザウイルスが 検出されました！（家きん国内9例目）

【概要】

- 11月24日 福岡県宗像市の肉用鶏農場で死亡鶏増加。
- 11月24日 当該鶏について簡易検査を実施し陽性。
- 11月25日 遺伝子検査の結果、疑似患畜であることを確認。

※渡り鳥が湖沼等に飛来するこの時期は、全国的にウイルスが持ち込まれる可能性が高く、全国いずれの地域においても発生リスクがあります。

※環境中にウイルスが存在している可能性が高い状況下では、飼養衛生管理基準の遵守を徹底する必要があります。

① 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止

- ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用

② 野生動物対策

- ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
- ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓

**厳重な
警戒を！**

※飼養衛生管理状況の点検を行うとともに、家きんの特定症状（1日の死亡率が過去3週間の平均の2倍以上）、疑われる症状（鶏冠・肉垂のチアノーゼ等）を念頭に健康観察を実施し、早期発見・早期通報の徹底をお願いします。

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異常をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018